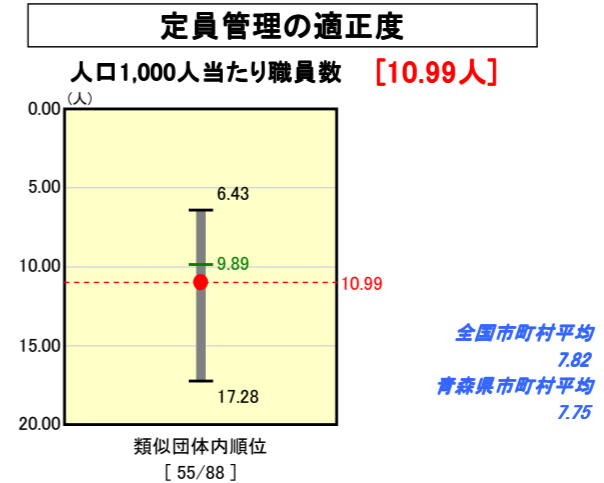
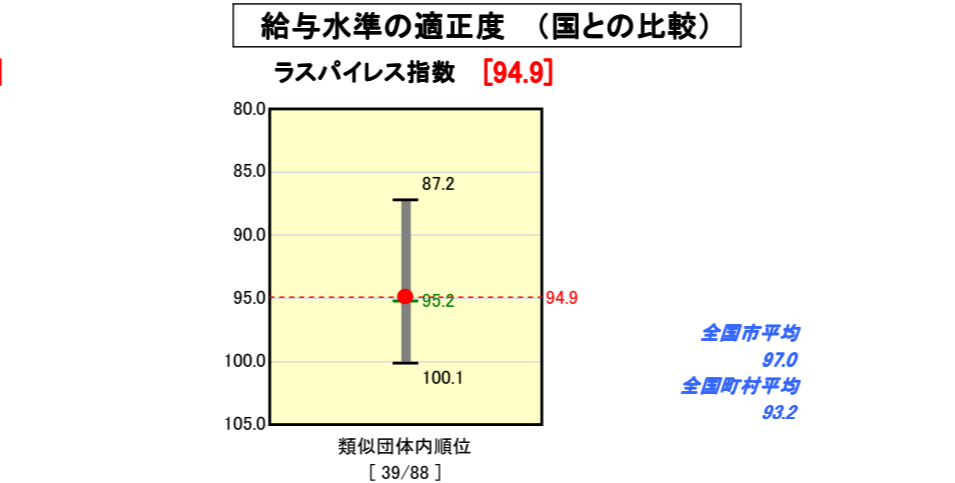
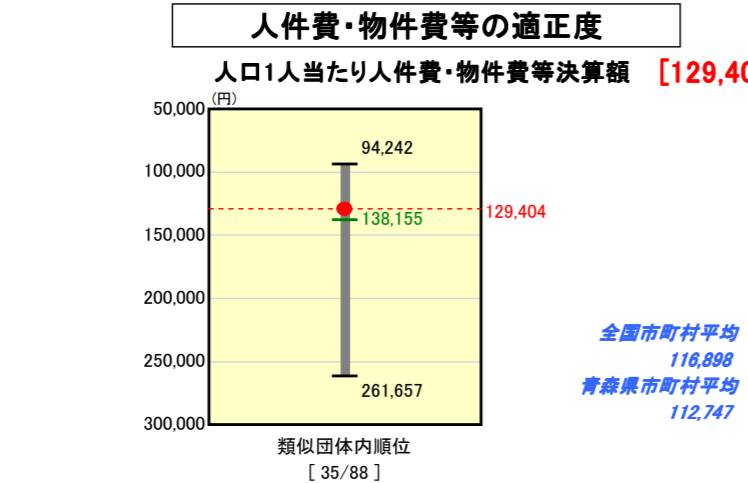
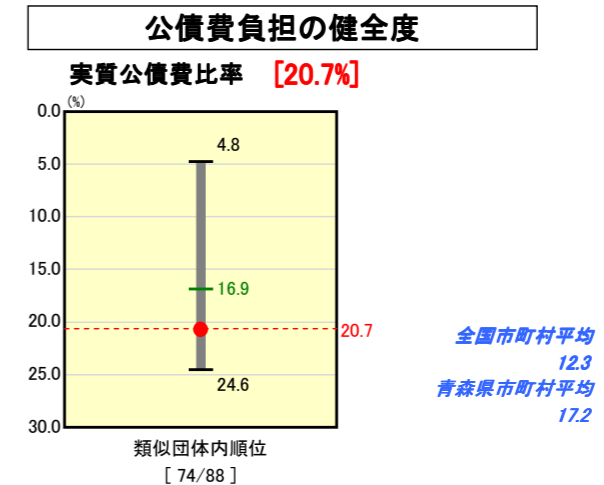
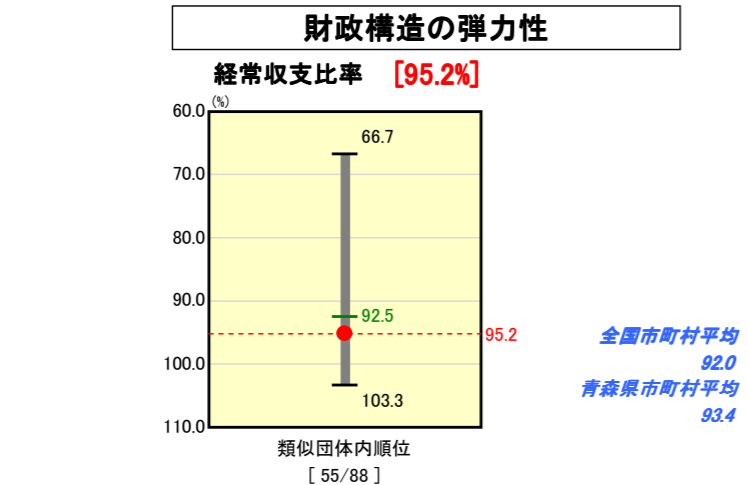
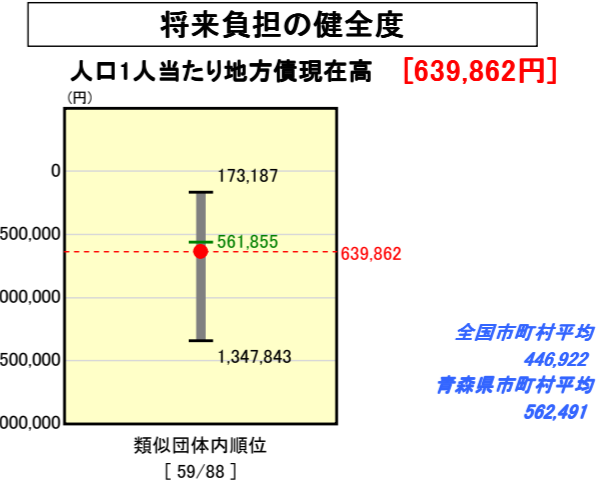
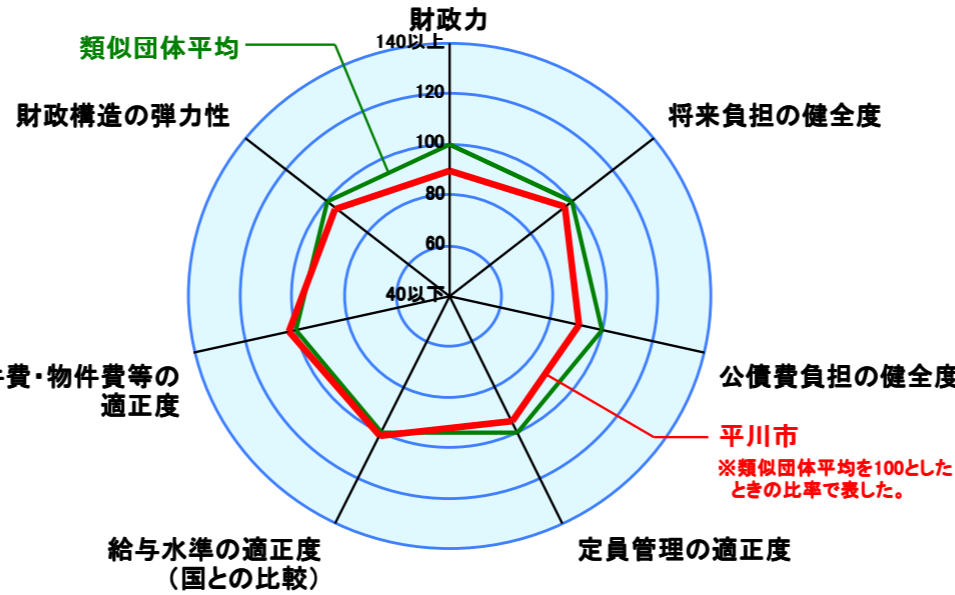
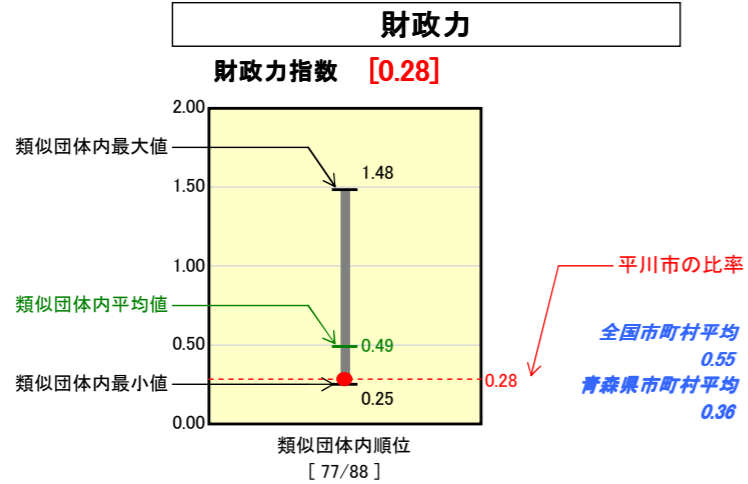


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

青森県 平川市

人口	34,953	人(H20.3.31現在)
面積	345.81	km ²
歳入総額	15,974,912	千円
歳出総額	15,847,209	千円
実質収支	127,703	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
第1次産業就業者比率が26.3%と高く、自主財源に乏しいため、類似団体を大きく下回っている。地域産業の活性化を図りつつ、行政の効率化に努めることにより財政の健全化を図る。

【経常収支比率】
人件費に係るものが30.5%、公債費に係るものが24.4%と高い水準で全体の比率を押し上げている。今後、計画的に職員数の削減を図るとともに、地方債の繰上償還等の実施により比率の改善を図る。

【人口1人あたり人件費・物件費等決算額】
合併したことにより職員数が類似団体平均より多いことから、計画的に人件費(職員数)の減少に努める。さらに、物件費等においても、旅費、清掃及び植栽管理等の委託料の見直しや指定管理者制度を導入するなどして削減に努める。

【ラスパイレス指数】
昇給制度の見直しを行い、給与の上昇幅を抑制している。今後、職務・職責に応じた制度の見直しや人事評価システムの施行などの措置を講じていく。

【人口1人あたり地方債現在高】
近年、尾上中学校校舎改築事業や総合運動施設整備事業などの大型事業に伴った多額の借入を行ったことから高い水準にある。今後、地方債の新規発行の抑制に努めるとともに、繰上償還を実施するなど、将来負担の軽減を図る。

【実質公債費比率】
普通建設事業費に係る地方債償還金等に伴い上昇し、類似団体を大きく上回っている。今後、地方債の新規発行の抑制に努めるとともに、高利率借入分の借換や繰上償還の実施により、20%を下回るよう改善に努める。

【人口1,000人あたり職員数】
町村合併したことによる組織の肥大化のため、県内市町村平均より3.17人多くなっている。当面は、定員適正化計画に基づく職員数の減や組織再編を検討するなど行財政の効率化、行政サービスの充実や安定的提供に努めていく。